

第四次中津川市環境基本計画（素案）のパブリックコメント 実施結果について

1 募集内容

募集期間	令和7年9月1日（月）～9月30日（火）
対象者	市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所または事業所を有する個人や法人その他団体など、広く中津川市に関係のある方
計画案の 閲覧場所	市ホームページ
意見提出方法	郵送、直接提出、ファックス、電子メール

2 実施結果

意見提出者	4名
意見件数	11件

3 意見及び意見に対する考え方等

NO	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正方針
1	<u>○全体について</u> 本計画は、中津川市の環境施策の方向性を明確に示しており、持続可能な地域社会の実現に向けて意義深いものと考えます。特に、市民・事業者・行政が一体となった取組が強調されている点は高く評価できます。	ご評価いただきありがとうございます。 市民・事業者・行政が一体となり、協働で取り組んでいくことが今後の中津川市の環境にとって重要であると考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。
2	<u>○現状分析について</u> 現状分析において、気候変動や少子高齢化による環境負荷の変化について、さらに具体的なデータを活用して説明されると説得力が増すと考えます。また、近年増加している豪雨災害や猛暑への対応について、市民への啓発と防災計画との連携を強化すべきです。	現状分析については各取組の現況と課題のページに具体的なデータ等を記載しています。ただし、紙面の都合上で割愛させていただいているものもございますのでご了承ください。 豪雨災害等への対応については、担当部局とも連携を図りながら取組等を検討してまいります。

3	<u>○自然共生について</u> コミュニティにおいて一斉清掃などで居住地周辺の整備を行っていますね。地域のコミュニティがしっかりしているところほど自然の保全ができていないのではないかと思います。そういった意味でコミュニティに対して保全の支援をしたらいいと思います。中津川市は自然豊かであるという認識と誇りを持ってもらう取り組みが必要では？そういった認識のもとにより良い取り組みが生まれるのではないのでしょうか？	ご認識のとおりだと考えます。 本計画では、脱炭素・循環経済・自然共生の全てにおいて、地域のコミュニティを含む協働・パートナーシップによる解決が必要であるという考えに基づき施策や取組を検討していますので、引き続きよろしくお願いいたします。
4	<u>○循環経済について</u> 人口が増え経済が活性化すれば自然とゴミは増えます。なので、ゴミが増えることはいいことなのでは？	製造から廃棄に至るまで資源を無駄なく循環・再生することでごみを限りなく減少させ、経済を活性化させつつごみを減らすという「課題の同時解決」が必要であると考えます。 ごみ削減は市の重要な課題の一つと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
5	<u>○循環経済について</u> 循環型社会の形成に向けた取組は非常に重要ですが、特にプラスチック削減や食品ロス対策など、生活に密着した課題に具体的な数値目標を設定すると、市民が参加しやすくなると思います。	ご指摘のとおり、プラスチック削減や食品ロス対策は生活に密着した問題であり、市民目線からも重要であると考えます。 数値目標の設定については、モニタリングの可否等も踏まえ、今後の検討課題とします。

6	<u>○脱炭素について</u> 太陽光パネルの主要素材の多くが中国 新疆ウイグル自治区で生産されており国際的に「強制労働による生産がおこなわれている」との指摘あり、人権侵害の疑いのある製品が含まれる可能性があること。 太陽光パネルに有害物質が含まれ廃棄処分の方法や処分場の確保が未整備のまま大量導入が進んでいることが問題です。 自然災害時に破損したパネルからの感電や有害物質流出など人命や環境へのリスクが懸念されます。 山林伐採して設置されたケースでは、近年の豪雨による土砂災害や水害などのリスクが高まり地域住民の安全を欠き不安を増幅させます。田畑等の設置においても景観破壊、生態系への影響、災害時の安全性の課題があります。 太陽光発電の導入を進めるにあたってはその”持続可能性”が真に確保されているかを慎重に検証し、住民の安全と人権、自然環境を尊重するかたちでの見直しを強くお願いしたいです。 現在、日本で導入されている太陽光パネルの約9割は輸入品であり、大半を中国製が占めています。日本の根幹にかかわるエネルギー供給を外資に頼るのは、安全保障上も看過できない事態だと思います。	SDGs の観点からも、太陽光発電の設置に関しては単に設置だけすればよいというだけでなく、製造から使用、廃棄に至るまで責任をもつことが重要であると考えます。 市としては、「中津川市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を適切に運用し、設置事業者等への適切な対応をして参ります。また、国等の動向を注視し、適宜条例の見直し等も図っていきたいと考えます。
7	<u>○脱炭素について</u> ソーラーパネルは景観を非常に損なうばかりか照り返しなど自然への影響も大きいと考えられます。決して自然に優しいものとは思えない。さらに中国製となるとセキュリティの懸念も存在する。	市としては、「中津川市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を適切に運用し、景観や太陽光発電の設置に伴う被害等が出ないように、事業者には適切な導入と適正な維持管理を働きかけています。また、必要に応じ事業者に対して指導、助言、又は勧告を行います。

8	<u>○脱炭素について</u> 再生可能エネルギー導入については、市民や中小企業が参画しやすい制度設計（補助金や共同発電事業など）が望まれます。 また、森林資源の活用は、中津川市の特色を活かした施策であり、林業振興と環境教育の両立を進めていただきたいと思います。	ご指摘のとおり、再生可能エネルギー導入の制度設計については、本計画をもとに財政面等も考慮しながら検討していきたいと考えています。 また、中津川市の特徴である森林資源を活かし、環境学習等への活用を進めていきたいと考えています。
9	<u>○進捗管理について</u> PDCA サイクルを強調されていますが、計画進捗を市民へ見える形で公開することが重要です。例次ごとの評価報告や、市民協働によるチェック体制を取り入れると透明性が高まります。	これまでも、環境基本計画の進捗状況については、年に一度中津川市環境保全審議会にて報告を行っています。 また、毎年環境基本計画の進捗状況を含む中津川市の環境報告書を「中津川市の環境」として取りまとめ、ホームページに掲載しています。
10	<u>○広報について</u> 本計画は、中津川市が持続可能な環境都市を目指すうえで重要な指針であると考えます。今後は、SNS などを活用し、計画内容を市民にわかりやすく周知し、幅広い世代が主体的に参加できる取組みへと発展する為にも、取組みを参加者の「やりがい」につなげ、また、一部の方への利益供与ではなく、多くの市民や参加者への利潤をもたらすことにより、10 年以上前から言われ続けている「指導者の人材育成」や「持続可能な活動」となることを期待します。	ご指摘のとおり、中津川市の環境のためには、市民・事業者・行政の協働による取組が必要であり、そのためには一つ一つの取組を市民に伝えていく必要があると考えています。 今後、やりがいのある取組に繋がるような発信について検討していきたいと考えますので、引き続きよろしくお願いいたします。
11	<u>○広報について</u> 勉強になりました。広報または回覧で回したらいかがでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本計画は概要版等を作成しますので、今後回覧の活用も含め広報の方法について検討したいと思います。